

令和6年度

公社営農地耕作条件改善事業

浅羽地区

6 浅羽第101号

ほ場整備工事 特記仕様書

工事場所 坂戸市大字浅羽地内

契約の日 から

工 期

令和7年3月28日 まで

公益社団法人埼玉県農林公社

	(趣 旨)
第 1 条	この特記仕様書は埼玉県土木工事共通仕様書及び土木工事共通仕様書（農林水産省農村振興局制定）に定めるもののほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。
	(適 用)
第 2 条	この特記仕様書は、坂戸市大字浅羽地内 6 浅羽第 1 0 1 号 ほ場整備工事に適用する。
	(監督員の権限)
第 3 条	公益社団法人埼玉県農林公社建設工事請負契約約款、埼玉県土木工事共通仕様書及びこの特記仕様書による。
	(工事の施工管理)
第 4 条	工事の施工管理は、埼玉県土木工事共通仕様書第 1 編 1 - 1 - 2 8 に規定する土木工事施工管理基準を適用するものとし、特に定めのない事項については、農林水産省農村振興局制定の土木工事施工管理基準によるものとする。
	(疑 義)
第 5 条	工事の施工過程で生じた疑義は、監督員と現場代理人が協議を行い、解決するものとし、協議結果を書面により提出する。
	(かし担保)
第 6 条	公益社団法人埼玉県農林公社建設工事請負契約約款第 4 4 条による。
	(安全訓練等の実施)
第 7 条	本工事の施工に際し、現場に即した安全、訓練等について、工事着手後、原則として作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、安全訓練等を実施するものとする。 また、安全訓練等の実施状況を報告するものとする。
	(工事用地)
第 8 条	工事の施工上必要な用地は、受注者が確保するものとする。 なお、工事施工に必要な用地手当の経緯は、監督員に報告しなければならない。
	(仮設、工法の指定)
第 9 条	指定なし。

第10条	<p>(第三者に対する措置等)</p> <p>本工事により損傷を来す恐れのあるものについては、事前に調査を行ってから、工事に着手するものとする。</p>
第11条	<p>(監督員の立会い)</p> <p>必要に応じて立会いを行う。</p>
第12条	<p>(工事材料の品質、検査)</p> <p>工事に使用する材料のうち、工場検査、材料試験、承諾書等の必要なものについては、別表のとおりとする。</p>
第13条	<p>(その他)</p> <p>調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めなければならない。</p>
第14条	<p>(県産木材の利用)</p> <p>本工事においては、仮設の工事用防護柵や丁張等に使用する木材を含め、可能な限り県産木材を利用するよう努めなければならない。</p>
第15条	<p>(工事コストの表示)</p> <p>工事中標示板を掲示する工事について、その工事中標示板に工事請負金額を表示するものとする。</p>
第16条	<p>(工事カルテ作成・登録)</p> <p>請負者は、受注時又は変更時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けた上、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更後10日以内に、完成時は完成後(工事完成検査合格後)10日以内(いずれも土曜日・日曜日・祝日・12月29日～1月3日を除く)に、訂正時は速やかに(財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。</p> <p>登録対象は、工事請負代金額500万円以上の全ての工事とし、受注・変更・完成・訂正時にそれぞれ登録するものとする。ただし、単価契約の場合は、完成時に請負代金額の総額が500万円以上の工事を対象とし、竣工登録をおこなうものとする。</p> <p>また、(財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。</p>

なお、変更時と完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

(公共事業労務費調査)

第17条

次のとおり公共事業労務費調査に協力するものとする。

(1) 国土交通省及び農林水産省が実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、工事の工期経過後においても、同様とする。

(2) 調査票等を提出した後に訪問して行う調査・指導の対象に受注者がなった場合受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。

(3) 公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに、賃金台帳を調整・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかななければならない。

(4) 工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む。)が(1)~(3)と同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(建設副産物)

第18条

受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」等を遵守し施工を行うものとする。

なお、建設副産物に関する詳細は、別添建設副産物仕様書によるものとする。

(排出ガス対策型建設機械)

第19条

本工事で使用する建設機械は、「排出ガス対策型建設機械」を原則とする。現場代理人は、排出ガス対策型建設機械を施工現場において使用する場合、建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

なお、現場において「排出ガス対策型建設機械」の使用が困難な場合は、監督員と協議するものとする。

	<p>(公共事業歩掛調査)</p>
第20条	<p>公共事業歩掛調査の対象工事となった場合、受注者は調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力を行わなければならない。</p>
	<p>(埼玉県電子納品対象工事)</p>
第21条	<p>本工事は、埼玉県電子納品対象工事とする。 成果品の一部または全部を電子データで納品した場合は、「埼玉県土木工事共通仕様書」の定めにかかわらず、同成果品の紙による提出を要しない。</p>
	<p>(電子成果品の作成)</p>
第22条	<p>電子成果品は、「埼玉県電子納品運用ガイドライン(案)農村整備課版」に基づき作成する。</p>
	<p>(電子成果品の提出)</p>
第23条	<p>電子成果品は、データを格納した電子媒体(CD-R)を正、副各1部提出する。 なお、電子成果品によらないものは、従来通り紙媒体で納品する。</p>
	<p>(週休2日制モデル工事)</p>
第24条	<p>本工事は、埼玉県農林部「週休2日制モデル工事(現場閉所型)」の試行対象工事である。 試行の実施は、埼玉県農林部「週休2日制モデル工事」試行要領によるものとする。試行要領は、埼玉県農林部農村整備課ホームページで確認のこと。 URL : (<a href="https://www.pref.saitama.lg.jp/a0906/syukyu2model.html">https://www.pref.saitama.lg.jp/a0906/syukyu2model.html</a>)</p>

**建設副産物仕様書**

（対象工事）

第 1 条 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、工事着手前に本工事に係る再生資源利用〔促進〕計画書を作成し、施工計画書に含め各 1 部提出する。また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、再生資源利用実施書・再生資源利用促進実施書を作成し、各 1 部提出するとともに、これらの記録を保存する。

○ 再生資源利用計画書（実施書）の作成対象工事

- ① 1,000m<sup>3</sup>以上の土砂を搬入する工事
- ② 500t以上の砕石を搬入する工事
- ③ 200t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
- ④ 最終請負金額 100 万円以上の工事

○ 再生資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事

- ① 1,000m<sup>3</sup>以上の建設発生土を搬出する工事
- ② アスファルト・コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200t以上搬出する工事
- ③ 最終請負金額 100 万円以上の工事

2 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付する。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処分業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付する。

また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結する。

3 建設廃棄物については、「産業廃棄物処理におけるマニフェストシステム」に基づく、建設廃棄物マニフェスト A 票、B 2 票、D 票、E 票を監督員に提示し、確認を受けるとともに、D 票、E 票の写しを提出する。また、工事検査時には原本を提出しなければならない。

（建設発生土の搬入）

第 2 条 該当なし

（建設廃棄物の再資源化等）

第 3 条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）の分別解体等及び再資源の実施について適切な措置を講ずることとする。

なお、本工事における特定建設資材の分別解体等については設計図書に、再資源化については以下の積算条件を設定しているが、費用等については契約締結時に発注者と受注者の間で確認される事項であるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

○再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所在地
セメコン廃材	廣嶋産業(株) 坂戸リサイクルセンター	坂戸市大字萱方307-3
アスファルト廃材	(株)関東建設 川越アスコン	川越市上寺山176-1
アスファルト舗装切断濁水	大丸商事(株)	狭山市広瀬台2-12-13

※上記は積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。ただし、原則として再資源化施設へ搬出すること。  
 なお、受注者の提示施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。  
 ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項についてはこの限りではない。

2 受注者は、契約前に作成した「分別解体等の計画等」について、文書で発注者に説明するものとする。

3 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、監督員に報告しなければならない。

- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第1項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。

なお、資源有効利用促進法等に基づく再生資源利用実施書・再生資源利用促進実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告書に添付するものとする。

- 4 受注者は、工事の施工に当たっては、平成14年3月18日に策定した「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

（再生資材の利用）

第 4 条

下記の再生資材を、備考欄の部分に利用すること。

なお、現場から40kmの範囲の再資源化のための施設から供給が困難な場合は、新材への設計変更の対象とする。

資材名	規格	備考
再生切込碎石	40mm以下	車道路盤等



## 舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

(趣 旨)

第 1 条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

(適 用)

第 2 条 この特記仕様書は、次の工事に適用するものとする。

工 事 名 6 浅羽第 1 0 1 号 ほ場整備工事

工事箇所 坂戸市大字浅羽地内

(濁水の処理)

第 3 条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

- ・ 種類及び処理量
- ・ 中間処理施設
- ・ 処理方法

2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合は、事前に監督員と協議するものとする。

(共通事項)

第 4 条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

(提出書類等)

第 5 条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第 4 条第 3 項及び第 4 項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。

（その他）

第 6 条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として変更の対象としないものとする。

2 受注者は、バキューム式以外の工法（舗装版切断時に濁水を生じない等）を使用する場合においては、事前に発注者と協議するものとする。

3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

## 技術者等の専任及び工期の変更に関する特記仕様書

(趣 旨)

第 1 条 この特記仕様書は、現場代理人の常駐、主任（または、監理）技術者の専任及び工期の変更に関し必要な事項を定めるものとする。

(技術者等の専任等)

第 2 条 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は、仮設工事等が開始されるまでの期間）については、現場代理人の工事現場への常駐を要しないととも、主任（または、監理）技術者の工事現場への専任を要しない。

なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督員との打ち合わせにおいて定める。

(工期の変更)

第 3 条 請負契約の締結後、工事の進捗状況により、発注者と受注者が協議のうえ、工期を変更することができる。



工 事 概 要 表			地 区 名	浅羽地区
工 事 概 要	工 事 名	ほ場整備工事	工事番号	6 浅羽第 1 0 1 号
	工 事 量	ほ場整備工 A=7.7 h a		
	工 事 場 所	坂戸市大字浅羽地内		
	工 期	契約の日 から 令和 7 年 3 月 2 8 日 まで		
	設 計 金 額	円	予算科目内訳	
概 要 図				
設 計 諸 元	工 事 名	6 浅羽第 1 0 1 号 ほ場整備工事		
	整地工	簡易整地工	A=	7.69 ha
		仕上げ耕耘	A=	7.69 ha
		整地付帯工		1 式
	用水路工	711-4水路 H300~350×B300~350	L=	1,526 m
		用水路付帯工		1 式
排水路工	711-4水路 H600×B600~800	L=	1,200 m	
	排水路付帯工		1 式	
道路工	農作業道 幅員3.0m~5.0m	L=	951 m	
	道路付帯工		1 式	
摘 要				



















事業名	公社営農地耕作条件改善事業 浅羽地区
工事名	6 浅羽第101号ほ場整備工事

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接工事費(仮設工を除く)					
・整地工	1.000	式			
・・整地工	1.000	式			
水田簡易ほ場整備整地工	7.690	ha			歩A・単A B単 1号
耕耘(仕上げ)	7.690	ha			歩A・単A B単 2号
不整地運搬 80m以下	173.000	m3			歩A・単A B単 3号
不整地運搬 180m以下	17.000	m3			歩A・単A B単 4号
不足土運搬 坂戸市土置場～現場	285.000	m3			歩A・単A B単 5号
合 計					
・・整地付帯工	1.000	式			
段差畦畔工	323.000	m			歩A・単A B単 6号
水口工 タイプA VU管 φ100mm	17.000	箇所			歩A・単A B単 7号
水口工 タイプA(市単) VU管 φ100mm	5.000	箇所			歩A・単A B単 8号
水口工 タイプC(砂利道路横断) VP管 φ100mm	9.000	箇所			歩A・単A B単 9号
水口工 タイプC(砂利道路横断、市単) VP管 φ100mm	5.000	箇所			歩A・単A B単 10号
水口工 タイプD(舗装道路横断) VP管 φ100mm	2.000	箇所			歩A・単A B単 11号
用水路補修工(市単) 既設用水路モルタル補修(U-350)	1.000	箇所			歩A・単A B単 12号
用水路補修工(市単) 既設用水路モルタル補修(U-300)	5.000	箇所			歩A・単A B単 13号
尻水口工 タイプH1 VUφ100mm	28.000	箇所			歩A・単A B単 14号
進入路工 タイプa1 幅3.0m ベンチフリューム300横断乗入	7.000	箇所			歩A・単A B単 15号
進入路工 タイプa2 幅3.0m ベンチフリューム350横断乗入	8.000	箇所			歩A・単A B単 16号
進入路工 タイプb 幅3.0m 直乗入	11.000	箇所			歩A・単A B単 17号
進入路工 タイプc 幅3.0m 既設U型側溝横断乗入	1.000	箇所			歩A・単A B単 18号
排水路末端処理工 タイプM2 柵渠フリュームB600×H600用	4.000	箇所			歩A・単A B単 19号
合 計					
・用水路工(開水路)	1.000	式			
・・用水路工	1.000	式			
用水路3-5号 ソケット付きフリュームB350×H350×L2000	110.000	m			歩A・単A B単 20号
用水路3-6号 ソケット付きフリュームB350×H350×L2000	102.000	m			歩A・単A B単 21号
用水路3-7号 ソケット付きフリュームB300×H300×L2000	91.000	m			歩A・単A B単 22号
用水路3-8号 ソケット付きフリュームB300×H300×L2000	143.000	m			歩A・単A B単 23号
用水路3-9号 ソケット付きフリュームB300×H300×L2000	81.000	m			歩A・単A B単 24号
用水路6-1号(No0+0～No0+62) ベンチフリューム2種300	62.000	m			歩A・単A B単 25号
用水路6-2号(No0+62～No1+10) ベンチフリューム2種300	48.000	m			歩A・単A B単 26号
用水路8-1号 ベンチフリューム2種300	100.000	m			歩A・単A B単 27号
用水路9-1号(No0+0～No0+39) 一般部 ベンチフリューム2種300	29.000	m			歩A・単A B単 28号
用水路9-1号(No0+0～No0+39) 暗渠部 ベンチフリューム2種300	10.000	m			歩A・単A B単 29号
用水路9-1号(No0+39～No1+17) ベンチフリューム2種300	78.000	m			歩A・単A B単 30号
用水路9-2号 ベンチフリューム2種300	88.000	m			歩A・単A B単 31号
用水路10-1号 ベンチフリューム2種350	123.000	m			歩A・単A B単 32号
用水路10-2号 ベンチフリューム2種350	92.000	m			歩A・単A B単 33号
用水路11号 ベンチフリューム2種300	95.000	m			歩A・単A B単 34号
用水路12-1号 ベンチフリューム2種350	93.000	m			歩A・単A B単 35号

事業名	公社営農地耕作条件改善事業 浅羽地区
工事名	6 浅羽第101号ほ場整備工事

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
用水路12-2号 ベンチフリューム2種350	81.000	m			歩A・単A B単 36号
用水路12-3号 ベンチフリューム2種350	100.000	m			歩A・単A B単 37号
合 計					
・・用水路付帯工	1.000	式			
用水横断暗渠工7号 ボックスカルバートB400×H400	1.000	箇所			歩A・単A B単 38号
用水横断暗渠工8号 ボックスカルバートB400×H400	1.000	箇所			歩A・単A B単 39号
用水横断暗渠工9号 ボックスカルバートB400×H400	1.000	箇所			歩A・単A B単 40号
用水横断暗渠工10号 ボックスカルバートB300×H300	1.000	箇所			歩A・単A B単 41号
用水横断暗渠工11号 ボックスカルバートB300×H300	1.000	箇所			歩A・単A B単 42号
市道用水横断暗渠工5号(集水桝1のみ) 横断管(VPφ250mm)既設利用	1.000	箇所			歩A・単A B単 43号
市道用水横断暗渠工6号(集水桝1のみ) 横断管(VPφ250mm)既設利用	1.000	箇所			歩A・単A B単 44号
市道用水横断暗渠工7号 横断管(VPφ250mm)既設利用	1.000	箇所			歩A・単A B単 45号
市道用水横断暗渠工8号 横断管(ボックスカルバート300×300)既設利用	1.000	箇所			歩A・単A B単 46号
市道用水横断暗渠工9号 横断管(ボックスカルバート350×350)既設利用	1.000	箇所			歩A・単A B単 47号
市道用水横断暗渠工10号 横断管(ヒューム管φ300)既設利用	1.000	箇所			歩A・単A B単 48号
用水路放流工1号	1.000	箇所			歩A・単A B単 49号
合 計					
・排水路工	1.000	式			
・・排水路工	1.000	式			
排水路3-2号 欄渠型フリュームB600×H800	47.000	m			歩A・単A B単 50号
排水路3-3号 欄渠型フリュームB600×H800	226.000	m			歩A・単A B単 51号
排水路4-2号 欄渠型フリュームB600×H600	98.000	m			歩A・単A B単 52号
排水路5号 欄渠型フリュームB600×H600	102.000	m			歩A・単A B単 53号
排水路6-1号 欄渠型フリュームB600×H600	92.000	m			歩A・単A B単 54号
排水路6-2号 欄渠型フリュームB600×H600	122.000	m			歩A・単A B単 55号
排水路7-2号 欄渠型フリュームB600×H600	125.000	m			歩A・単A B単 56号
排水路8-1号 欄渠型フリュームB600×H600	154.000	m			歩A・単A B単 57号
排水路8-2号 欄渠型フリュームB600×H600	136.000	m			歩A・単A B単 58号
排水路9-1号 欄渠型フリュームB600×H600	50.000	m			歩A・単A B単 59号
排水路9-2号 欄渠型フリュームB600×H600	48.000	m			歩A・単A B単 60号
合 計					
・・排水路付帯工	1.000	式			
排水横断暗渠工7号 ボックスカルバート B800×H600	1.000	箇所			歩A・単A B単 61号
市道排水横断暗渠工2号 横断管(ヒューム管φ500)既設利用	1.000	箇所			歩A・単A B単 62号
市道排水横断暗渠工3号 横断管(ヒューム管φ500)既設利用	1.000	箇所			歩A・単A B単 63号
市道排水横断暗渠工4号 横断管(ヒューム管φ500)既設利用	1.000	箇所			歩A・単A B単 64号
市道排水横断暗渠工5号 ボックスカルバートB600×H600	1.000	箇所			歩A・単A B単 65号
排水接続工3号 排水路9-1号屈曲部	1.000	箇所			歩A・単A B単 66号
排水接続工4号 排水路9-2号と既設水路接続部	1.000	箇所			歩A・単A B単 67号
排水放流工3号 排水路6-1号最下流	1.000	箇所			歩A・単A B単 68号
排水放流工5号 排水路8-1号最下流	1.000	箇所			歩A・単A B単 69号
排水落差工6-1号 タイプA1	1.000	箇所			歩A・単A B単 70号
排水落差工6-2号 タイプD	1.000	箇所			歩A・単A B単 71号











## 6浅羽第101号 ほ場整備工事 添付図面

図面番号	図面の名称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	現況計画平面図	2	2-1,2-2
3	整地工計画平面図	2	3-1,3-2
4	客土計画平面図	0	
5	整地附帯工位置図	2	5-1,5-2
6	整地附帯工標準構造一般図	5	6-1,6-2,6-3,6-4,6-5
7	農作業道計画平面図	2	7-1,7-2
8	農作業道標準断面図	3	8-3,8-4,8-5
9	農作業道附帯施設工位置図	2	9-1,9-2
10	道路擦付工標準構造図	1	
11	用水路工計画平面図	2	11-1,11-2
12	用水路工標準断面図	3	12-1,12-3,12-4
13	用水附帯施設工位置図	2	13-1,13-2
14	用水横断暗渠工構造一般図	8	14-9,14-10,14-11,14-12, 14-13,14-14,14-15,14-16
15	市道用水横断暗渠工構造一般図	6	15-8,15-9,15-10,15-11,15-12,15-13
16	用水路放流工構造一般図	1	
17	排水路工計画平面図	2	17-1,17-2
18	排水路工標準断面図	2	18-2、18-3
19	排水附帯施設工位置図	2	19-1,19-2
20	排水横断暗渠工構造一般図	1	20-9
21	市道排水横断暗渠工構造一般図	6	21-1,21-2,21-3,21-4,21-5,21-6
22	排水路接続工構造一般図	2	22-3,22-4
23	排水放流工構造一般図	2	23-3,23-4
24	排水落差工標準構造図	2	24-1,24-2
計		61	